

**定時制****平成27年度 職員による評価(その1)**

調査日：平成28年1月13日(水)～19日(火)

回収率：100.0%

回答：4・十分達成している  
2・やや不十分である3・概ね達成している  
1・不十分である**1 本校の教育目標・経営方針を理解して行動している。**

	4・3	2・1	平均
今年度	94.4%	5.6%	3.1
昨年度	90.0%	10.0%	3.1

**2 進学や就職など生徒の多様な夢の実現に向けて、個に応じた学習指導を充実させる。**

	4・3	2・1	平均
今年度	83.3%	16.7%	2.9
昨年度	75.0%	25.0%	2.9

進路部を中心として、職員全体で進学・就職に向けての指導を進めてきた事への評価ではないかと思われる。

**3 職員間において、学力向上のための手立てについて話し合いの機会を持っている。**

	4・3	2・1	平均
今年度	55.6%	44.4%	2.6
昨年度	35.0%	65.0%	2.2

評価は幾分上がっているが、今後も職員全体での研修等の機会を設定するなどの取組が必要である。

**4 単位制高校としての学校の特色を理解してもらうための広報活動に努める。**

	4・3	2・1	平均
今年度	77.8%	22.2%	2.9
昨年度	75.0%	25.0%	3.0

今後も夏季休業中の中学校訪問や授業見学週間の設定の工夫を続ける必要がある。

**5 問題行動に対する事前・事後指導を十分に行っている。**

	4・3	2・1	平均
今年度	88.9%	11.1%	3.1
昨年度	70.0%	30.0%	2.9

生徒の問題行動は少ない傾向にあるが、定期的な校内外巡視を徹底し、問題行動等の事前防止に今後も取り組む必要がある。

**6 教室の管理やロッカーの管理等、整理整頓状況の点検・指導に努める。**

	4・3	2・1	平均
今年度	77.8%	22.2%	3.0
昨年度	85.0%	15.0%	2.9

整理整頓は継続した指導が必要である。

**7 日常生活において「自己判断・自己管理・自己責任」の能力の育成を援助する。**

	4・3	2・1	平均
今年度	77.8%	22.2%	2.9
昨年度	55.0%	45.0%	2.7

**8 部活動・ボランティア活動・学校行事等へ積極的に参加するように呼びかけ、帰属意識の高揚を図る。**

	4・3	2・1	平均
今年度	77.8%	22.2%	2.9
昨年度	70.0%	30.0%	2.8

部活動参加者が増大していることがプラス評価につながったと思われる。

# 定時制

## 平成27年度 職員による評価(その2)

調査日：平成28年1月13日(水)～19日(火)

回収率：100.0%

回答：4・十分達成している  
2・やや不十分である

3・概ね達成している  
1・不十分である

### 1 年次に応じた適切な指導援助体制を確立する。

	4・3	2・1	平均
今年度	83.3%	16.7%	2.9
昨年度	85.0%	15.0%	2.9

LHR等を活用したキャリア教育の充実を図り、今後とも個に応じた進路指導を推進する必要がある。

### 2 生徒の個性を生かせる資料の整理や活用がなされている。

	4・3	2・1	平均
今年度	77.8%	22.2%	3.0
昨年度	75.0%	25.0%	3.0

### 3 生徒の希望に即した的確な進路指導を提供する。

	4・3	2・1	平均
今年度	77.8%	22.2%	2.8
昨年度	85.0%	15.0%	3.1

今後も進路部、卒年次を中心としながら、全職員で進路指導をサポートしていく必要がある。

### 4 生徒の進路意識の啓発を促し、基礎学力の定着に努める。

	4・3	2・1	平均
今年度	66.7%	33.3%	2.7
昨年度	65.0%	35.0%	2.6

マイナス評価が相変わらず高い。授業に出る指導の徹底と学習習慣の確立を図る必要がある。

### 5 生徒の心身の健康状態について把握し、適切に指導している。

	4・3	2・1	平均
今年度	88.9%	11.1%	3.1
昨年度	90.0%	10.0%	3.2

### 6 給食は円滑に実施されている。

	4・3	2・1	平均
今年度	100.0%	0.0%	3.5
昨年度	95.0%	5.0%	3.3

高い評価が得られている。今後は喫食者を拡大させる手立てを考えたい。

### 7 生活環境や衛生管理が整備されている。

	4・3	2・1	平均
今年度	94.4%	5.6%	3.3
昨年度	95.0%	5.0%	3.3

定期的な保健だよりの発行や教育相談の実施等保健指導の充実が評価につながっている。

### 8 校舎内外施設の点検を定期的に行い、適切な安全管理を行っている。

	4・3	2・1	平均
今年度	94.4%	5.6%	3.3
昨年度	95.0%	5.0%	3.4

調査日：平成28年1月13日(水)～22日(金)

回収率：66.7%(1年次…50.0%, 2年次…80.9%, 卒年次…61.8%)

回答：4・そう思う 3・どちらかといえばそう思う

2・どちらかといえばそう思わない 1・そう思わない

1 定期考査には十分勉強して臨んでいる。

	4・3	2・1	平均
今年度	35.1%	64.9%	2.2
昨年度	28.4%	71.6%	2.1

プラス評価が若干増えているが、今後も学習習慣をつけさせていく指導が必要である。

2 自分の学習成果や成績に満足している。

	4・3	2・1	平均
今年度	41.9%	58.1%	2.3
昨年度	28.4%	71.6%	2.1

評価は上がっているが、進路希望を見据えさせ、授業に確実に出る指導、学習習慣をつけさせる指導が必要である。

3 食事・睡眠・運動に気を配るなど、健康管理に努めている。

	4・3	2・1	平均
今年度	37.8%	62.2%	2.3
昨年度	48.1%	51.9%	2.4

マイナス評価がさらに増えている。健康管理が生活の基本であることを今後も繰り返し指導をしていかなければならない。

4 学校行事には、積極的に参加している。

	4・3	2・1	平均
今年度	64.9%	35.1%	2.9
昨年度	66.7%	33.4%	2.9

学校行事に主体的に関わることで、充実感が得られることを継続して指導する必要がある。

5 授業は分かりやすく、教え方が丁寧である。

	4・3	2・1	平均
今年度	79.7%	20.3%	3.0
昨年度	81.5%	18.5%	3.1

6 開陽マッチや開陽祭等の学校行事は充実している。

	4・3	2・1	平均
今年度	81.1%	18.9%	3.1
昨年度	74.1%	25.9%	3.0

生徒会役員を中心に、さらなる充実を図っていければと考える。

7 先生はよく相談にのってくれる。

	4・3	2・1	平均
今年度	87.8%	12.2%	3.3
昨年度	84.0%	15.9%	3.2

8 差別発言やいじめを受けたりして不愉快な思いをしたことがない。

	4・3	2・1	平均
今年度	87.8%	12.2%	3.4
昨年度	83.9%	16.1%	3.4

今後とも全職員が学校生活全般における生徒への目配りをしっかりしていかなければならない。

**定時制**

**平成27年度 保護者による評価**

調査日：平成28年1月13日(水)～22日(金)

調査方法：直接・郵送による回答

回答：4・そう思う

3・どちらかといえばそう思う

2・どちらかといえばそう思わない

1・そう思わない

1 校訓の「夢・実現」が、高校生活を送る上で生徒の生活信条にもなっている。

	4・3	2・1	平均
今年度	87.1%	12.9%	3.4
昨年度	95.7%	4.3%	3.4

マイナスの評価が増えている。さらに保護者の協力と理解を得られるようにしたい。

2 生徒は勉強に一生懸命取り組んでいる。

	4・3	2・1	平均
今年度	71.0%	29.0%	2.8
昨年度	60.8%	39.1%	2.9

依然として約3割の保護者は学習が不十分であると捉えている。

3 生徒は学習以外にも目的をもって一生懸命取り組んでいる。

	4・3	2・1	平均
今年度	77.4%	22.6%	3.0
昨年度	69.6%	30.4%	3.0

生徒の意欲不足を感じている保護者の割合は昨年と比べ、減っているようである。

4 生徒の生活習慣(自己管理の能力)がしっかりしている。

	4・3	2・1	平均
今年度	54.8%	45.2%	2.6
昨年度	56.5%	43.5%	2.6

生活習慣の確立が不十分とする保護者はほぼ半数いる。家庭と連携した継続的な指導が必要である。

5 生徒は公共物を大切に、マナーを守っている。

	4・3	2・1	平均
今年度	87.1%	12.9%	3.2
昨年度	86.9%	13.0%	3.3

6 生徒は定時制の時間的メリットを活かした生活(学業と仕事)をしている。

	4・3	2・1	平均
今年度	71.0%	29.0%	3.0
昨年度	65.2%	34.8%	2.9

項目3とも関連するが、生徒は生活を充実させていると捉えている保護者が増えている。

7 学校は、学校の様子や生徒の情報をよく知らせてくれる。

	4・3	2・1	平均
今年度	71.0%	29.0%	3.0
昨年度	78.3%	21.7%	3.1

8 学校・担任は保護者とよく連携をとっている。

	4・3	2・1	平均
今年度	83.9%	16.1%	3.2
昨年度	86.9%	13.0%	3.3

高い評価を得ているが、今後とも連携がうまく図れるようにしていきたい。

9 生徒の実態に応じた生活・進路・衛生指導がなされている。

	4・3	2・1	平均
今年度	93.5%	6.5%	3.3
昨年度	91.3%	8.6%	3.3

プラス評価が増えている。今後とも保護者の学校に対する信頼をさらに得られるようにしていきたい。

# 【平成27年度 学校関係者外部評価委員からの提言等】

鹿児島県立開陽高等学校

## 1 学校関係者評価委員会並びに学校活性化対策委員会

(平成26年度から、全日制・定時制・通信制の三課程合同で開催)

(1) 第1回 : 平成27年7月9日(木) 15:10~16:40

参加者: 外部評価委員7名, 校長, 総括教頭, 全日制・定時制・通信制の各教頭, 事務長  
全日制・定時制・通信制の各4部主任(教務・生徒指導・進路指導・保健)

(2) 第2回 : 平成28年2月23日(火) 13:30~15:00

参加者: 外部評価委員5名, 校長, 総括教頭, 全日制・定時制・通信制の各教頭, 事務長  
全日制・定時制・通信制の各4部主任(教務・生徒指導・進路指導・保健)

## 2 外部評価委員からの提言

(1) 単位制高校として、三課程がそれぞれに一生懸命取組んで成果を上げており、生徒も単位の意義を理解して学校生活に満足していることがわかった。ほとんどの生徒は責任感を持って真面目に学校生活を送っている。以前のイメージが残っていて、厳しい見方をする地域の人もあるが、開陽高校の良いところをもっとPRしていくことで、多くの生徒が「開陽に来て良かった」と誇りを持って卒業できる学校になると思う。

(2) 各種大会での受賞も多く生徒が活躍していることがわかったが、受賞を知らせる横断幕を学校周辺に掲示するだけでなく、書道や美術の作品を展示するなど、生徒の活動の成果を学校周辺の人たちにも見てもらえるような工夫はできないか。もっとアピールの仕方を工夫して欲しい。新聞社への取材依頼も含めて、積極的な情報発信を今後も続けて欲しい。

(3) 中学校の先生に開陽高校のことを知ってもらわなければ、中学生が高校を選ぶ際の選択肢に入っていない。また、定時制や通信制の仕組みや内容をわかっていない中学生の保護者も多いので、もっと理解してもらえるよう説明を工夫して欲しい。

(4) 不登校の中学生やその保護者は中学校と連絡が取りにくくなっていることも多く、進路に関する情報を得ることが難しい状況にある。保護者の中には子どもの不登校を隠したがる人もいますが、中学時に不登校であった生徒が開陽高校で頑張っていることを、粘り強くPRし続けることが大切である。

(5) 授業公開(8月, 11月)に参加した人は、開陽高校に対する印象が大きく変わる。学校を知ってもらう良い機会なので、保護者や中学校、地域などへ積極的なPRをして欲しい。

(6) 生徒の地域行事への参加を増やすなど、生徒に自信を持たせることが必要だと思う。ボランティアに参加する生徒が多いようなので、今後も継続して欲しい。

(7) ホームページの内容は改善されているが、もっと学校の様子を発信して欲しい。また、生徒たちがよく使用するスマートフォンにも対応できるようにすることも検討して欲しい。